

いぬなし青葉

令和7年4月14日

第2号

校長 米川 崇



山手中 HP

7日の始業式、入学式から1週間がたちました。20年ぶりの山手中学校での勤務に、懐かしさを感じながら校舎をめぐるっています。ところどころ改修はされていますが、あのころと変わらぬ雰囲気があります。（ずいぶん古くなってきている！）しかし、トイレ、洗面所、廊下と、どこもきれいに掃除され、丁寧に使われているのがわかります。居心地の良いレトロな喫茶店？みたいな感じです。

また、皆さんがとてもさわやかに挨拶してくれるのが、居心地の良さを感じる一番の要因なのかもしれません。



● 学校通信のタイトル「いぬなし青葉」について

「いぬなし」は、日本では愛知県・三重県・岐阜県のみに生育する、バラ科ナシ属の植物（樹）の名前です。平成22年8月5日に国の天然記念物に指定され、山手中学校の東側の「イヌナシ自生地」は、大切に保存されています。

山手中学校の体育館入口に、アイナシとともに自生して、春になると白い花を咲かせ、毎年花が終わると小さな梨の実が鈴なりに実ります。じゃりじゃりした梨特有の食感がありますが、おいしくはありません。花と新葉（若葉）が同時に出る性質があるため、真っ白な花と若葉の緑のコントラストがとても美しく、

校歌の2番にも「伊勢の夏潮 風に薫り いぬ梨青葉 真日にさやぐ（さやさやと音を立てる）」というフレーズがあり、その美しさが歌詞にも取り上げられています。



● 中学校生活で大切にしてほしいこと

4月7日（月）、令和7年度の1学期始業式及び入学式を行いました。子どもたちは、それぞれ進級する学年への希望や期待を胸に秘め、新たな気持ちでこの日を迎えたことと思います。すれ違うたびに、元気よくあいさつをしてくれ、輝く笑顔を見せてくれました。

始業式では、先輩になった2年生、そして最上級生になった3年生に対して、山手中学校の教育目標にもある「自分で考え、行動すること」について話をしました。先輩となった2・3年生は、後輩から「先輩、どうしたらいいですか？」ときかれること、先生から「自分たちで考えて、やってみてごらん」と任せられることが増えると思います。

「自分で考え、行動する」には、まず、自分を見つめること、そして周りを信じるが必要になります。そのうえで、先を見越した想像力も大切になってきます。1年生の良きお手本となることを期待しています。

入学式では、山手中学校の校訓である「自主・創造・協力」について話をしました。

【自主】人から指示されて動くのではなく、自分で考え、判断し行動すること。

【創造】今まで学んだこと、経験したことをもとに先を読み、果敢にチャレンジすること。

【協力】仲間と一緒に挑戦したり、仲間と一緒に課題を解決したりしようと努力すること。



中学生になったのだから、何でも一人で判断し、何事にも一人で挑戦しなくてはいけないということではありません。「自主・創造・協力」は三位一体です。まず、自分を見つめること。そして周りの人をしっかり見つめ、自分にはないその人の個性を認めることが「協力への第一歩」となると思います。

「ちょっと助けてくれる？」「うん、いいよ。」と気軽に言い合えるなかまづくりをしていってください。

みなさんの周りには、先生も、先輩も、そして、多くの友だちもいます。わからないことや不安なことは一緒に考えていきましょう。

● 困ったときは話してみよう

スクールカウンセラーは、昨年度に引き続き、大石紘子（おおいし ひろこ）さんです。

心配なことや困ったこと、悩んでいることがある人は、大石カウンセラーに話してみましょ。話すことで心がすっきりすることもありますよ。

予約の方法は、担任の先生に聞いてください。

○ 来校日時：原則、毎週金曜日と第2・第4火曜日



【保護者のみなさまへ】

保護者の方の相談も受け付けています。お子さまの様子で気になることや子育てでお悩みのこと等があれば、スクールカウンセラーへの相談という方法も選択肢の1つに入れていただければいかがでしょうか。カウンセリングの予約は、担任または教育相談担当教員まで、ご連絡ください。

☎ 059-330-0046